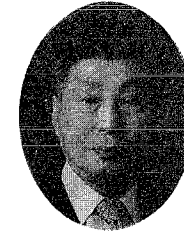


# 文部大臣表彰受賞



**須藤書店**  
**須藤幸吉さん**  
 永年の教科書供給事業に尽力された功績が認められ、須藤書店さん(本町二)が文部大臣より表彰されました。今後も一層の活躍が期待されます。

## 選挙人名簿の縦覧について

公職選挙法第二十二條第一項による平成五年九月一日現在において登録資格を有する人を、九月二日に選挙人名簿に登録します。左記により縦覧できます。

**縦覧場所** 小須戸町役場(選挙管理委員会事務局)  
**縦覧期間** 九月三日から九月七日まで。(土曜日、日曜日を除く) 午前八時三十分から午後五時まで

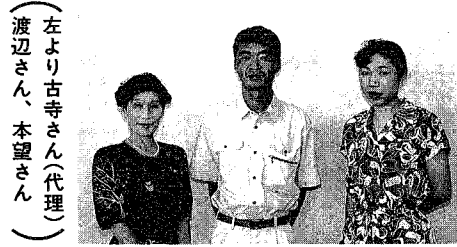
**秋の交通事故防止運動**  
 9月21日(火)～30日(木)  
**夜の道 わが身を守る 明るい服装**

## 町長が退院しました

去る七月二十三日夜、不慮の交通事故に遭い、入院治療しておりました佐藤町長が八月十七日無事退院しました。退院後、自宅で療養していましたが、怪我の快復も順調で九月初めには登庁できる見通しがあります。この間、町民各位には何かとご心配、ご不便をおかけしましたこととお詫び申し上げますと共に退院の報告といたします。

毎月10日は交通安全家庭の日  
 【9月の交通安全標語】  
**慣れた道 とび出す一歩 とびつく危険**

## 初期消化活動で表彰



うでこきの本望春美さん、渡辺聡さん、古寺悦夫さんが白根地区消防本部の消防長より表彰を受けられました。これは、去る七月に小須戸町で住宅の一部を焼いた火災で、早期発見と、消火通報活動が適切、かつ迅速に行われたことにより、被害を最小限度にとどめたことが認められたものです。ご協力に感謝いたします。みなさんも火の取り扱いには充分注意しましょう。

## 壮快！ハーレーパレード

8月1日、夏の交通事故防止運動のPRのため、ハーレーダビットソン30台による交通安全パレードが行われました。当日は多くの皆さんがハーレーを一目見ようと沿道に繰り出し、盛んに声をかけたり、写真を撮る姿が見られました。今月21日から秋の交通安全運動が始まります。皆さん、正しいルールとマナーで交通事故を起こさない・合わないようにしましょう。



## 定期点検はクルマの愛情チェック

9月10日は「定期点検整備促進運動」実施中  
 ドライバーの皆さん、点検整備は定期的にしていますか。交通ルールをまもるのが大切なように、クルマにとって定期的な点検整備は、とても大切なことです。小さなトラブルが、思わぬ事故を招いてしまうことだってあるのです。だからクルマにも、愛情を持って接するのが大切。快適で安全なドライブを楽しむためにきちんと点検しましょう。

月額  
 小・中学校入学支度金 4万円  
 一時金(申込時) 14万6千円  
 1万8千円

## 自動車事故対策センターより 貸付金・介護料のご案内

**自動車事故対策センター**では、交通遺児を健やかに育てるための資金を無利子で貸しています。また、交通事故で重度の後遺障害となった人には介護料を支給しています。

○対象  
 ●交通遺児育成資金の貸付け  
 ○対象 自動車事故で保護者が死亡、又は重度障害になった家庭の0歳から中学校卒業までの子供

○貸付額  
 一時金(申込時) 14万6千円  
 月額 1万8千円  
 小・中学校入学支度金 4万円

○返済方法  
 貸付決定月から中学校卒業後20年以内の均等払い(高校・大学進学者は卒業まで猶予)

○対象  
 ●重度後遺障害者への介護料  
 ○対象 自動車事故により脳及びせき髄損傷を生じ、自力移動・自力

○利息 無利子です。

○貸付期間 貸付決定月から中学校卒業

○返付方法 中学卒業より一年据え置いた後20年以内の均等払い(高校・大学進学者は卒業まで猶予)

○介護料 介護料 4千円  
 入院日額 4千円  
 自宅療養日額 2千円

○支払期間 受付した日から介護料を支給する理由がなくなる日まで

●申込・問い合わせ先  
 自動車事故対策センター  
 新潟主管支所  
 住所 新潟市新光町6番地4  
 新潟県トラック総合会館内  
 電話 025・283・1141

豊かさは 住みよい環境 住まいから  
 ご協力をお願いいたします **住宅統計調査**  
 今回のテーマは「住生活の充実」

今年住宅統計調査の年。昭和23年から5年ごとに行われているこの調査も、今年で10回目を迎えました。住宅統計調査の結果は、国や地方公共団体の住宅政策を立案するうえで、重要な基礎資料として役立てられます。また、公営住宅の建築計画、大学の研究機関の住宅・防災問題などの研究にも利用されます。今回の調査は、全国の14万7,000地域、約400万世帯を対象に、平成5年10月1日現在で行われます。小須戸町の対象地区は、新町3、雁巻1、若葉町2、中央町3、新栄町4・5、蔵町4・5、新保3、の各一部です。9月23日から調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布しますので、調査の対象となった世帯の方は、調査へのご理解とご協力をお願いいたします。なお、調査票は10月1日以降に回収します。

**調査の狙い 四つのポイント**

- 調査の狙い 四つのポイント
- 高齡化社会に対応した、住まいと住み方(同居、近居など)の実態を調べます
- 地域活性化の基本資料となるよう、地域に密着した住宅事情を明らかにします
- 人口の都市集中が、住生活にどのような影響を与えているか詳しく調査します
- 駐車場や庭などの項目を新たに追加、より現代にマッチした住宅の質を考えます

## 防災いろはことわざ

**か** 無謀です地震が起こって車で避難

地震が起こったとき、「避難は徒歩」は原則。車やオートバイなどの乗り物を使うのは厳禁。また、車を運転中なら、道の左側に停車して、警察官などの指示に従う。

**ろ** 海辺では津波を警戒揺れのあと

地震時、海辺にいたら、ただちに高台やビルの上階以上に避難し、津波情報をよく聞く。津波警報や注意報が出たら、解除されるまで、絶対に海辺や低地に近寄らない。